

養成・○研修 / 基礎・専門・○支援員 （該当するものに○）

★参照したモデルプログラムNO.（報告書 pp.207-244） 下線：内容・項目（pp.72-76）

日時・場所	2018年8月6日(月) 11:15~15:00 *含 12:00~13:00 昼食(講師と指導者との交流) 可児市総合会館分室(授業参観) 及び 可児市多文化共生センタープレビア(講義)				
実施団体・機関	NPO 法人 可児市国際交流協会 / 岐阜県立加茂高校定時制				
研修・授業名	高校進学支援 さつき・かがやき教室 指導者研修会				
受講者	・人数: 19名 ・受講者の立場: 当協会にサポーター登録された支援者 11名 岐阜県立加茂高校定時制教員 8名 ・年齢層:20代(6)名 30-40代(8)名 50代(0)名 60歳以上(5)名				
演題・テーマ☆	高校進学を目指す子どもたちへの指導 ☆研修内容（報告書 pp.72-76）を反映				
到達目標	高校進学を目指す子どもたちの学習時の困難について、グループディスカッションと実際の授業を通して理解し、指導方法について得られたヒントをもとに、自分が担当しているコマで課題意識を持って、対応させる。 進学先の一つである高校の教員も参加し、進学前の状況を把握していただき、高校に入学後の様々な問題解決につなげる。				
	活動展開 (2時間45分) *昼食(講師と指導者との交流)1時間を除く	★	形態	留意点	参考資料
導入：45分 講師及び教員に指導者の授業を見ていただく		⑭	活動	指導者は、通常通り一斉授業を行う(1フロア:5クラス同時開催)。講師及び教員が各クラスを回るため、クラスの説明(生徒の属性、学習レベル、授業内容)ができる人が、アテンドにつく。 ■ 実地現場の理解 ■ 現場の状況・条件に応じた指導・支援計画の設計 ■ 対象生徒の実態に即した支援方法の決定 ■ 現場の指導者と生徒とのコミュニケーション	・生徒の属性、背景が分かる資料を講師にお渡しする
展開：60分				〔研修前の流れ〕 ・事前に、企画者が、教室コーディネーターから教室の課題、本研修に期待することを	

			ヒアリングし、まとめた資料を講師に、お渡しするとともに、講師にモデルプログラムNo.⑧、⑰、⑳ (⑩、⑫、⑱、⑲) を提示し、その中から、講師に、講義展開を考案していただく。	
(1) 本研修の趣旨説明 (5分) ・企画者 (=進行) が行う		講義	本研修では、モデルプログラム開発事業の一環で実施する旨、参加者に周知。	
(2) 自己紹介 (4分)		グループ ディスカ ッション	事前に意図的にグループ分けをしておく。どんな意図があるのか講師に伝えておく。 ・さつき教室と高校教員混合のグループ ・グループ内で自己紹介	
(3) グループディスカッションⅠ (3) -1: 高校進学支援について (6分) ・進学へのモチベーションを高め、将来への展望を持たせるために、何が必要か、何ができるか。	⑧	グループ ディスカ ッション	■保護者との関わり ・高校進学への動機づけ ・将来への展望の有無 など ■保護者の教育への関心 ■生徒の文化適応の特徴 (情意面、行動面、認知面の違い) ■異文化適応のプロセス ■心的文化変容	
(3) -2: 講師からの事例 (10分)	⑬	講義	■キャリア教育 ■保護者同伴の進学説明会 ■高校訪問/中学見学に参加 ■先輩の話を聞く ■日本語教育の方法	
(3) -3: 参考サイト・教材の紹介	⑰	講義		サイト一覧
(4) グループディスカッションⅡ (4) -1: “効果的な”日本語・教科指導とは (10分) ・中学卒業に必要な日本語の力と教科の力は、どのように伸ばすか	⑰	グループ ディスカ ッション	■初期指導後の指導 ■教材の利用と作成 ■教科学習の進め方	
	⑳			

<p>(4) -2: 講師からの事例 (15分)</p>	<p>⑰ 21 ⑱</p>	<p>講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 初期指導教材 ■ 教科学習への橋渡し教材 ■ 大学生サポーターの活用 ■ 中卒認定対策 ■ 高校進学に向けて 	
<p>(4) -3: 参考サイト・教材の紹介</p>	<p>⑰</p>	<p>講義</p>	<p>サイト一覧</p>
<p>まとめ: 10分 グループディスカッションのまとめ ・次の指導からどんなことを取り組んでいこうか。自分はず、これをやってみようという意識</p>	<p>⑧ ⑫ ⑬</p>	<p>講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 保護者の教育への関心 ・ 保護者から保護者へ成功例を伝える ■ 心的文化変容 ■ 言語能力とコミュニケーション能力 	
<p>ふりかえり: 60分 講師と教室コーディネーターとの振り返り</p>	<p>⑰ ⑬ ⑭ ⑮ ⑰</p>	<p>対面</p> <p>グループディスカッションで指導者や教員から出てきた意見に基づき、コーディネーターとしての見解を講師と意見交換する。 企画者も同席。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ キャリア形成とことばの力 ■ 実地現場の理解 ■ 現場の状況・条件に応じた指導・支援計画の設計 ■ 授業の振り返り ■ 外国人生徒教育の経験による力量形成 ■ 日本語の授業づくり 	